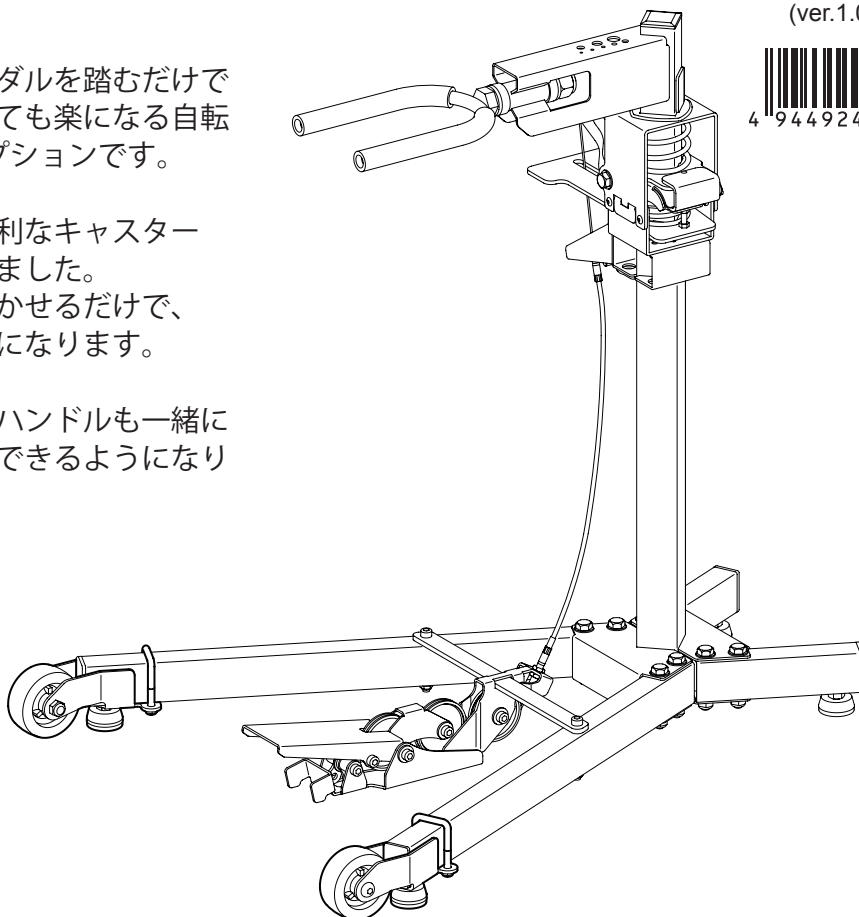




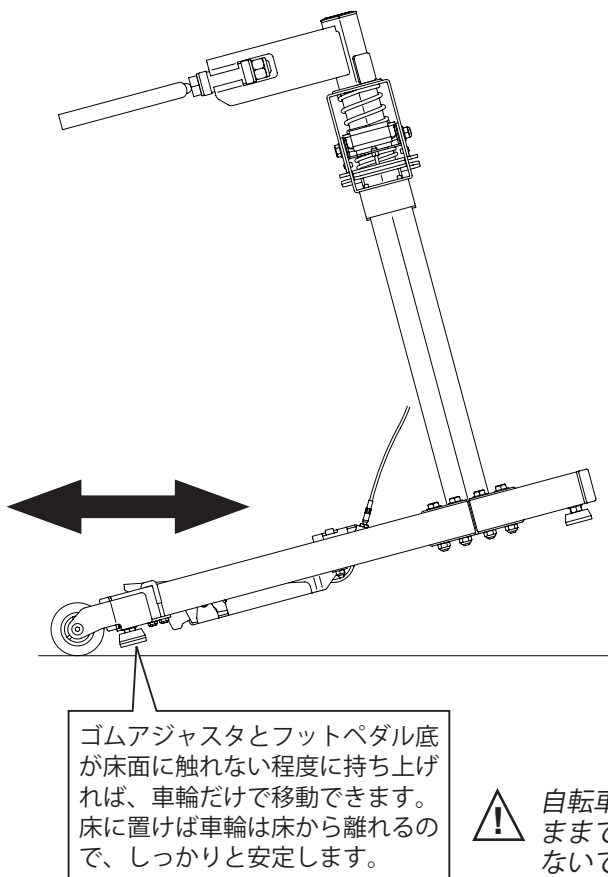
重量のある電動アシスト車でもペダルを踏むだけで軽々と上がることで整備作業がとても楽になる自転車整備スタンド「ERS-1」用のオプションです。

重いスタンドを移動させる際に便利なキャスターホイールを前脚の先端に取り付けました。スタンドの後ろ側を持ち上げて傾かせるだけで、楽々移動させることができるようになります。

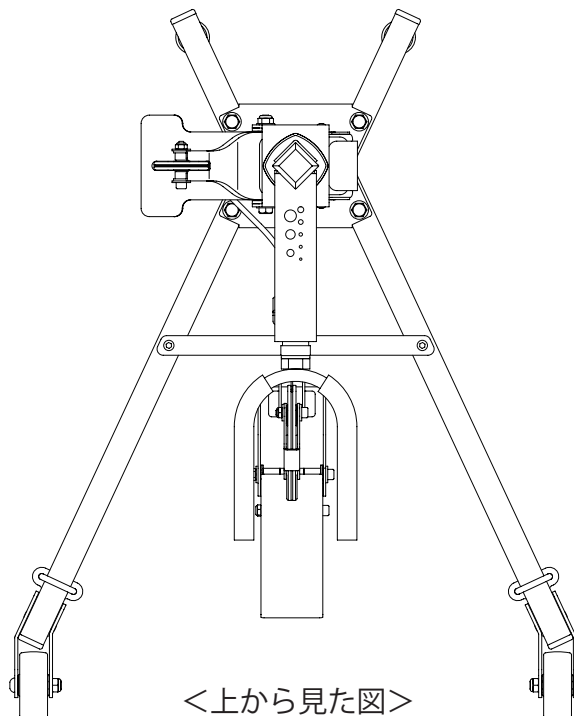
スタンド背面に装着するグリップハンドルも一緒に付けると、なおいっそう楽に移動できるようになります。



<移動姿勢>

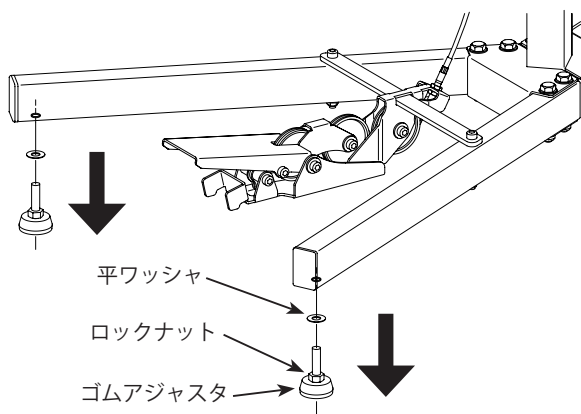


自転車を ERS-1 に載せたまま移動させようとしてください。



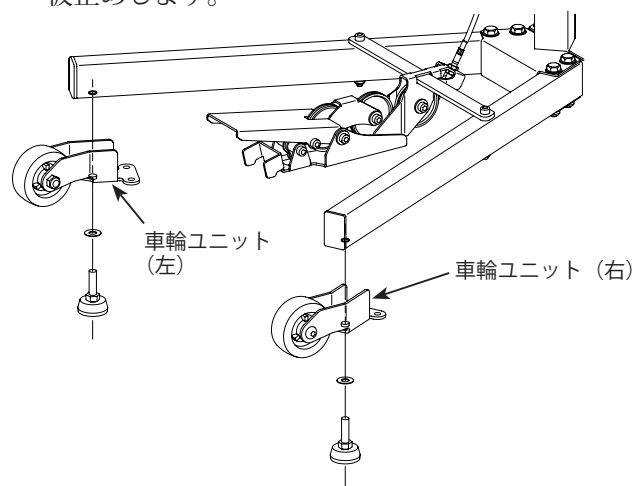
<上から見た図>

- 1** ERS-1 の前脚のゴムアジャスタを取り外します。
13 ミリスパナでアジャスタのロックナットを
緩めれば、あとは手で回せば抜けます。



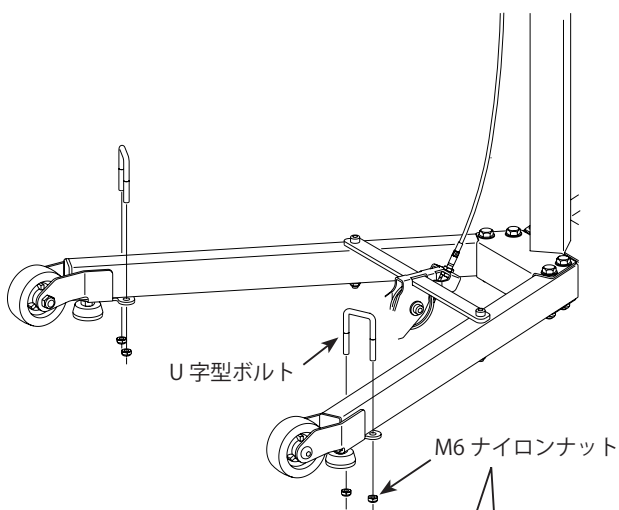
ロックナットは原則的にゴムアジャスタ側ではなく脚パイプ側に締め込まれています。
ナットをゴムアジャスタ側に回してやれば緩みます。

- 2** ゴムアジャスタを取り外した前脚の先端に、車輪
ユニットを取り付けます。
車輪ユニットには左右の別があるので、前ページ
の上面図を見て、車輪同士が平行になるようにし
てください。
車輪ユニットは、先ほど外したゴムアジャスタで
仮止めします。



ゴムアジャスタの高さ（突き出し）調整は最終
工程で行なうので、今はまだ暫定的なねじ込み
だけで結構です。

- 3** 付属の U 字型ボルトを前脚の上からかぶせ、車輪
ユニットの両側の孔に通します。
U 字型ボルトの先端に M6 ナイロンナットをねじ
込み、10 ミリスパナで締め込みます。



【memo】

ナイロンナットとは、ナットの片側に樹脂製のリングが
封入しており、その中をボルトのねじ部が通ることで
抵抗になり、結果的に緩み止めになるというものです。
ねじ込むには工具が必要です。手では締まりません。
ねじはリング（ドーム）の無い方からねじ込みます。
逆では正しく締まりません。

- 4** 最後にゴムアジャスタの高さ調整を行ないます。

ゴムアジャスタの高さは、ERS-1 を持ち上げて斜
めにしたときは車輪だけが床に接し、ERS-1 を床
に置いたときには**車輪はわずかに床から浮き上**
がり、ゴムアジャスタだけが床に接しているよう
にします。これにより ERS-1 は使用中にも動かなく
なります。
そうなるようにゴムアジャスタを手で回して高さ
を決め、ロックナットを脚パイプ側に 13 ミリス
パナで締め付けて固定します。

以上で装着は完成です。

